

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	いとキッズ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 23日		～ 令和 8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 23日		～ 令和 8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常駐している。	医療的ケアの必要な児童を受け入れたり、児童の体調不良などの時には、迅速に看護師に報告し対応している。	
2	ほぼマンツーマンの対応ができています。	個別に児童が興味あるものを取り入れて、楽しく活動できるようにしている。	
3	完全バリアフリーで、室内に段差がない。	基準よりも室内は広く、独歩の児童はもとより、車いすの児童も安全に動き回ることができるよう配慮している。	クッションタイプのブランコや、包み込むタイプのハンモックなど、障がいのある児童でも楽しめる遊具を揃えている。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他保育園などとの交流が少ない。	まだまだインフルエンザやコロナの流行があり、重症化する可能性がある方もいるので感染防止のため行ってない。	感染状況を見ながら、地域や近隣との関りを行っていくようにする。
2	家族に対する研修やペアレントトレーニングなどが、うまく行われていない。	スタッフへの研修がなかなかできていない。	勉強会を重ね、スタッフの能力向上に努めてまいりたいと思います。
3			